

# BINGブランド

BMWオートバイで無くてはならないブランドにBINGがあります。

会社名とブランドが異なるので長い間、疑問に思っていましたがネットで検索したら概要が判りました。

オートバイ乗りには判らないビックリするような歴史がありました。

**1866年 BING兄弟はドイツ・ニュルンベルクで家庭用品向けの金属加工業を設立した。**

のちに世界最大の玩具メーカーに発展した。

**1926年ツェンダッフなどで長年経験を積んだフリッツ・ヒンターマイヤーは独立して**

オートバイ部品メーカーを設立した。

**1930年代、世界恐慌のなか経営危機を乗り越えられなかった大企業BING社から**

BINGブランドとガスボイラーの生産権利を買収した。

**1933年、キャブレター開発者を獲得して共同でBINGキャブレターを開発した。**

トライアンフ(TWN)、ツェンダッフ用にキャブレターを生産し、アーティアー アウトユニオン、NSU、

イロ、ザックス、ハークレス、ビクトリアなどにも供給した。

数十年の間、BINGは多くの会社を買収した。エーリヒ・グレーツ、フィッシャー・アマル、パラス、FHN、

エンカウイなどの再生産の調整を行った。

**2001年、創業75年 英国バーミンガムのSU社(旧・スキナーユニオン社)を買収し、30台以上のトラックで**

機材、部品などニュルンベルクに搬送した。



世界最大の玩具工場



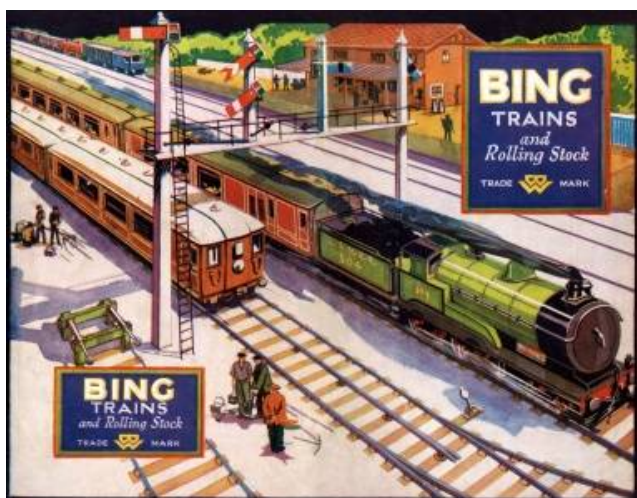
乗り物ダイスキ



鉄道モノが強い



BING WERK でトレードマークはBWをアレンジ



まるで「機関車トーマス」の世界



これもニュルンベルク産



お馴染みイエローバッグ



創業75年で社名変更



BING洞窟 兄が発見・開発

番外編：最後のバイエルン王ルートヴィヒ3世も訪れたBING洞窟は兄イグナツが1905年に発見、すでに大富豪になっていたBINGは周辺の土地を買い取り、観光洞窟として道路整備や電燈を設置し開発。現在でも観光地として賑わっているようです。案内板にはドイツで一番美しい石筍ギャラリーのコピーも

インターネットで調べ物、すごい時代になったとしみじみ思います。

画像はネットから引用